

2-4. 宇治学舎 総合教育実習及び研究棟『月照館』竣工

数年前より検討を重ねていました宇治キャンパス校舎整備環境計画の施行として、平成21年6月に起工式を挙、22年6月に建築が完了しました。7月に教材機器搬入並びに設置を行い、平成22年9月に短期大学開学50周年記念式典と、同日に宇治キャンパス総合教育実習及び研究棟『月照館』の竣工式を挙りました。新棟『月照館』は地上5階建て、鉄筋コンクリート造5階建校舎、約1万1千500平米の建物です。1階は子育て支援室・体育館・リズムレッスン室・調理実習室・試食室等を配置しています。「子育て支援室」は、地元宇治市との提携により運営を行っていきます。2階は、食物栄養学科の栄養士養成の為の一般調理実習室・栄養指導室・授業用実習室に加えて幼児教育課程対応のリトミック音楽演習室や運動生理学実験室等を完備しています。3階には情報実習室・インテリアデザイン室・音楽演習室・多目的実験・実習室があります。4階・5階には音楽演習室・造形室他個人研究室等を配置しています。現在の京都文教大学・短期大学に求められている施設を集約した本学園にとって理想的な新校舎『月照館』を平成22年秋学期から使用しています。



2-5. 宇治学舎 学生サロン『サロン・ド・パドマ』竣工

学生サロン『サロン・ド・パドマ』は鉄骨造平屋建て1041.45㎡(315坪)の建物です。三方がガラス張りで周囲に芝生が配され枝垂れ桜と多くの緑の樹木に囲まれた理想的な新棟です。館内正面に設置しました大型マルチスクリーンは大学関係では日本でも有数の設備を誇ります。『サロン・ド・パドマ』の館名は、パドマとは蓮の花というインドの言葉です。蓮の花は泥水の中に育っても泥には染まらず大輪の清楚な花を咲かせます。蓮の花のように学生が健やかに成長するための憩いの場所として活用されることを切望し蓮の花の持つ美しさ気高さをイメージして命名されました。

今後は、京都文教大学・短期大学の勉学と憩いの場所として有効に利用して行きます。



2-6. 岡崎学舎 瑠璃殿改修

椅子について、男子生徒から幅が狭い、クッションが無いなどの意見があり、また老朽化も進んでいたため、全面取替えを行いました。新しい椅子はシアター向けのゆったりしたサイズと長時間座っても疲れにくいクッションを採用しています。また同時にカーペットやカーテン、音響設備も一新しました。



2-7. 岡崎学舎 中高放送設備更新

機器の老朽化と地上波デジタル放送に対応するため、放送設備・テレビ・ビデオ機器のデジタル化を全館で行いました。撮影用カメラには最新の業務用ハイビジョンカメラを導入。パソコンによるノンリニア編集、すべての教室には46インチハイビジョンテレビとブルーレイディスクレコーダーを設置し、視聴覚教材の高画質化を図りました。



2-8. 宇治学舎 バリアフリー対策

宇治学舎の校舎全般にバリアフリー対策を実施しました。学生並びに教職員から学内生活においてバリアフリー対策が必要な場所を意見聴取して、スロープ設置、車椅子で受講可能な机設置、危険場所の改修等約20か所の改修工事を施工して可能な範囲で不自由なく学内生活ができるようにしました。

2-9. 宇治学舎 学務システム更新

平成22年度、従来使用していた学務基幹システムの保守が当該年度で打ち切られることになったのを契機に、キャンパス内で稼働している学務関係システムの全面見直しを実施し、学生・教

職員の利便性を向上させるべく複数種類のシステムを1つのパッケージシステムに集約するシステム更改を実施しました。更改前のシステムでは、学生は目的によって都度複数のシステムにアクセスする必要があったが、新しいパッケージシステムの導入により、学生は目的にかかわらず、アクセスする入り口が一つとなり、履修登録、授業、成績に関する情報等、従来よりも利用できるサービスや情報が増え学生の利便性は向上しました。また、教職員も授業や学生に関する情報等ポータルシステムを利用することにより、よりきめ細やかな学生指導、対応が可能となりました。今後は、学生のシステム利用頻度を向上し、全教職員がこのシステムを活用して従来よりもよりよい学生指導、サービスができるよう運用方法の見直し、改善を図っていきます。さらに、今回のシステム更改時に施設予約システムの導入、大学・短大が別々で保有・管理していた学生情報のデータベースを一本化し、大学・短大間の連携、業務処理の効率化を図るため環境を整備しました。